

令和五年度 大学院人文科学府修士課程第1期入学試験問題

（日本史学）

次の一～八の設問から6問を選び解答せよ。但し、解答は全て縦書きとすること。

〔二〕日本古代史に関する次の①～⑤の語句について説明せよ。

- ① 三代格式
- ② 受領
- ③ 摂関政治
- ④ 防人
- ⑤ 蝦夷

(三) 左に掲げた史料に関する設問(一)～(四)に答えよ。

著作権上の理由により、WEB公開版では問題文より削除した。

(東京国立博物館蔵)

(一) 現行通用の字体を用いて、全文を翻刻せよ。ただし、改行は原文通りとし、破損部分は□で示し、適宜校訂注を付すこと。印影・印文は省略してよい。

(二) この文書はいかなる機能を有するものか。説明せよ。

(三) 古代の公文書における押印の意義について説明せよ。

(四) この文書が発給された当時の唐商人の動向について説明せよ。

〔三〕左に掲げた史料は、戦国期の豊後で授受されたものである。これに関する設問（一）～（四）に答えよ。

著作権上の理由により、WEB公開版では問題文より削除した。

（国立歴史民俗博物館蔵）

（一）現行通用の字体を用いて、全文を翻刻せよ。ただし、改行は原文通りとすること。

（二）この文書に適切な古文書学的名称を付けよ。

（三）この文書の本文を現代語訳せよ。

（四）この文書は無年号である。年次を比定するにあたり、どのような方法がありうるか、簡条書きにして示せ。

〔四〕日本中世史に関する次の①～⑤の語句について説明せよ。

- ① 御成敗式目
- ② 代銭納
- ③ 軍忠状
- ④ 兵庫北関入船納帳
- ⑤ 連歌

〔五〕次の事項(一)～(三)について、それぞれ五行以内で論述せよ。

- (一) 遠山金四郎と天保改革
- (二) 田沼意次と蝦夷地開発
- (三) 荻原重秀と長崎貿易

〔六〕日本近現代史に関する次の①～⑧の語句の内、五つを選び、それぞれ四行以内で説明せよ。

- ① 江華島事件
- ② 民法典論争
- ③ 北清事変
- ④ 西原借款
- ⑤ 滝川事件
- ⑥ 新興財閥
- ⑦ 李承晩ライン
- ⑧ 造船疑獄事件

〔七〕 次の史料は戸田茂睡『御当代記』からの抜粋である。これを読み、以下の設問（二）～（四）に答えよ。

著作権上の理由により、WEB公開版では問題文より削除した。

（「上田市立上田図書館デジタルライブラリー」より）

（一）史料の「一 御当代になり」から「〇」印の行の「高位の如し」までの積文を作成せよ。但し、適宜、読点を施し、漢字は現行通用のものを用いること。また、変体仮名は、現行の平仮名を用いること。

（二）設問（一）において積文を作成した部分を解釈せよ。

（三）「御当代」が示す将軍の姓名を記し、史料が示す状況の背景となった法令の一般的な名称を記せ。

（四）設問（三）で述べた法令の歴史的な意義について、自由な観点から論ぜよ。

〔八〕次の史料は、ある政治家の日記の一部である。史料を読み、設問（一）～（五）に答えよ（史料は一部書き改めている）。

午前五時二十分小野秘書官よりの電話なりとの市川の声に夢を破らる直に電話に出しに内大臣は只今私邸にて一中隊の兵に襲撃せられ奥様もお二人共いけない様ですとのことなり右は齋藤家の書生よりの電話なりと。一大不祥事の発生を直感し、直に警視總監に電話をかく。通話することを得たれども、警視庁の手配については要領を得ず。よって役所より自働車を招き、午前六時参内す。自働車を待つ間に、近衛公、原田男に通知す。何れも未だ知らざりき。午前六時四十分頃、興津の西園寺公邸に電話を以て事件を御知らせす。公爵始め一同未だ御休み中との女中の返事にて、大に安心す。〔中略〕

三時頃、児玉〔秀雄〕拓務大臣より臨時総理奏請の手續を運びたしとの話あり。而し総理官邸は現に包囲せられ居り、其の生死は不明なれば、今奏請するは時機に非ざるべしと話で、暫く申出ざることとす。宮相と相談して右の通り返事す。清浦伯参内、天機奉伺せらる。右の趣を話たるに、嘗て伊藤総理が議会前に馬車より落て負傷せられし際、井上が臨時代理となりたることあり、生死不明にても必しも臨時代理の任命は不可ならざるべし云々の話あり、参考とす。

午後六時半、大角海軍大臣拝謁、後藤内務大臣を総理大臣臨時代理に任命の件を内奏す。

- （一）傍線部について、句読点を補い、内容を説明せよ。
- （二）「近衛公」、「原田男」、「西園寺公」について、それぞれの姓名を記せ。
- （三）二重傍線部（「三時頃」以降）について、人名などを補いつつ、内容を説明せよ。
- （四）この史料の内容は、何年月日のことだと推定できるか、その根拠と併せて記せ。
- （五）明治期以降の内大臣の役割について、八行以内で説明せよ。